

健康 ♪ 外来ニュース

コロナ後遺症

No. 59 令和6年3月15日

疲れ易いのはなぜか？

神経症状については、コロナによって味覚・嗅覚障害が起きると、神経を通して脳まで影響して、疲労感、集中力低下(ブレインフォグ)、頭痛、うつ、認知症悪化などを起こすと考えられます。

コロナ後遺症は、実はコロナ持続感染(他人への感染力はない)の状態であるとの意見もあります。

ACE1とACE2は何が違う？

アンジオテンシン(Ang)変換酵素(ACE)1は、Ang I から血圧を上昇させる作用のあるAng IIを生成するので、ACE1阻害薬(カプトリル、レニベース等)が降圧薬として使われています。また、ACE1阻害薬は、咳誘起物質ブラジキンを分解するACE1作用も抑えるので、副作用で咳が出ます。

一方、ACE2はAng IIを分解して血圧を低下させ、細胞の保護作用があります。

最近、咳込む人が多いのはなぜか？

新型コロナウイルス感染症の回復後で、2か月以上持続する他の病気では説明がつかない症状を罹患後症状(コロナ後遺症)と呼びます。厚労省[新型コロナウイルス感染症診療の手引き(別冊)罹患後症状のマネジメント第3.0版2023.10]その他のデータによると、コロナ感染の3か月後で約50%、12か月後でも約30%の人に何らかの症状が残り、若年者では味覚・嗅覚障害、集中力低下、頭痛など、中高年者では咳嗽、喀痰、筋肉・関節痛などを多く認めました。重症コロナ感染の後ではひどい後遺症が残ることがあります。変異株の種類によって多少の相違はありますが、主な後遺症は呼吸器症状と神経症状でした。

呼吸器症状については、コロナ肺炎の罹患3か月後でも、胸部CTで約50%に網状影、すりガラス影が見られ、肺機能検査で38%に肺活量低下(拘束性換気障害)が残っていました。

コロナウイルスは細胞表面のACE2蛋白(肺、心臓、消化管、動脈、腎臓に多く分布)に付着して感染します。高齢者、心臓病、喫煙者ではACE2が増加しているので、重症化しやすいと言われています。咳は、肺の迷走神経が延髄の咳中枢へ信号を伝えて反射的に出ますが、コロナ感染した迷走神経は過敏になって、些細な刺激に対しても咳が生じる**咳過敏症候群**の状態になっています。コロナ後では、軽い風邪、インフルエンザ、花粉症、喘息でも強く咳込む症状が続くことになります。発熱を伴わないコロナ感染もあるので、感染した自覚がなく、咳が後遺症だと気づかない場合があります。

コロナ後遺症に対する支援制度

まずコロナ後遺症専門医療機関(都道府県ホームページを参照)にて診断を受けること。労災保険[業務で感染し療養が必要。労働基準監督署]、傷病手当金[業務外で感染し労務できない。健康保険組合]、障害年金[障害が残った。年金事務所]、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳[市区町村の障害者手帳窓口]、生活困窮者自立支援制度[市区町村の自立相談窓口]などがあります。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康 ♪ 外来

水曜日 14:00~17:00(要予約)

担当：中嶋